

ワルシャワ美術アカデミー月例報告書【2月】

デザイン学科 3年

●留学準備

1. 受け入れ可否の審査

…ポートフォリオや推薦書などをワルシャワ美術アカデミーにサイトを通じて送る。私が初めてワルシャワ美術アカデミーに行く学生だったので、サイトにいろいろと不備があったが、次年度からは大丈夫だと思う。ただ、何かしら曖昧な点があれば、担当者にメールしてみた方がいい。あちら側のミスの可能性が高い。担当のカミラさんは基本的にすぐにメールを返してくれた。

2. ビザ

…東京目黒区にあるポーランド大使館に必要な書類を持っていく。予約が必要。私は入学許可が出てから、大使館にビザ申請の予約をしたのだが、意外と埋まっていた想定よりも遅くなった。ただ最終的に、渡航の15日前くらいにはビザを受け取ることができた。事前にメールや電話で大使館に必要な書類や確認をしておく

と安心。

●学校生活

・2月16日（月）オリエンテーション

…Erasmus student としてきた他国の学生（40人くらい）と初顔合わせをしてワルシャワでの生活や学校の授業についての説明を受けた。アジア人は私一人で、ほとんどはヨーロッパの学生。

・2月19日（木）design faculty の学生のミーティング

…design faculty の学生用の校舎の案内だとか、これから受ける具体的な授業名や担当教授、最初のミーティング日等のレクチャーを受けた。

・2月19日（木）～23日（月）各授業の初回ミーティング

…各授業の担当教授から、授業内容や授業日等のレクチャーを受け、どの授業を受けるか決める。私は、Wojciech Małolepszy 先生と Grzegorz Niwiński 先生の授業を受けることにした。

授業について

各授業は週に2回開催される。メインのデザインの授業は、ゼミのように少人数で話し合いながら行われる。私は、英語が拙いので絵を描いて伝えたり、事前にメールで内容を教授に送ったりしている。ポーランドの学生もいて、たまにポーランド語で教授と学生が話すこともあるが、留学生がいたらほとんどは英語で授業を行ってくれる。また、教授によっては英語が苦手な方もいる。

●日常生活

1.家

自分で探す必要がある。Otodom というアプリや facebook を使ってシェアフラットと呼ばれるバスルームやキッチンが共用のアパートを探した。インターネットや電気代諸々込みで、約6万円の家に住んでいる。想定していたよりも高くついてしまった。ワルシャワ美術アカデミーのサイトには約4万~6万円くらいと書かれていたが、ワルシャワの家賃相場も上がっているのだと思う。

2.食事

基本的に自炊をしている。私は、パンやパスタを主食にしている。それらに関しては日本よりも安く、パンは15円くらいからある。他の野菜やお肉はちゃんと計算していないが、日本と同じか安いくらいだと思う。

3.治安

日本ほどではないがすごくよいと思う。夜外に出ても大丈夫な安心感がある。2回ほど、お金をくれという人にあっただが無視したら大丈夫だった。

●その他

- ・キャッシュレス決済が主流なので、クレジットカードやデビットカードを作っておくのが必須。私は楽天のクレジットカードとデビットカードを主に使っている。
- ・入学許可が出てから、留学生の WhatsApp のグループができたので、ここでいろいろ情報を共有できる。



ワルシャワの街並み



ワルシャワ美術アカデミーの本校舎（私が通う design faculty の校舎ではない）